



## 人と人との交流が 札幌の街を活性化する

**市長** 今年は、駅南口のビルがオープンするだけでなく、大規模な国際会議も数多く予定されており、国内外からたくさんの方が札幌にやってきました。そこで、接客のプロで

ある三國さんに、人をお迎えする時の「おもてなしの心」についてお聞きしたいのですが。  
**三國** おもてなしって本当に難しいですよ。われわれでいえば、接客するわずかな時間の中で、「ようこそいらっしゃいました」という気持ちで



札幌でのワールドカップサッカー開催期間中、大通公園には50万人を超える人が訪れました

伝え切らなければなりません。そのためには、演出が必要だと思っんですよ。店のスタッフには、「店は舞台、われわれは役者」という気持ちで、もてなし役に徹することが大切だと伝えていきます。

**市長** 温かなおもてなしを受けると、深く心に残りますよね。それを実感したのが、昨年のワールドカップサッカー大会です。終了後、ボランティアを含めて、市民のおもてなしの心、親切さ、優しさをたたえる声が、いろいろな人を通じて聞こえてきました。  
**三國** 街全体のイメージアップになりましたね。

**市長** 札幌市民は心温かいという印象が、また札幌へ行きたいという気持ちにつながり、さらに、そうした人たちが周囲に札幌の良い思い出を語ることで、札幌の魅力が口伝えに広がっていきます。そうした効果は形には表せませんが、街の掛け替えのない財産になったと思っっています。

### 北都から文化を発信

**市長** 今年は、コンベンションセンター（左）やモエレ沼公園のガラスのピラミッド（右）など、世界に誇れる

市の施設も誕生します。市では、そうした施設を核として、

札幌に多くの人を呼び込み、市民との交流を促す「集客交流」を進めています。  
**三國** まさに、レストランも、社交の場、交流の場といえます。

**市長** 昨年のワールドカップサッカー大会も一つの成功例です。さまざまな分野で人と人との交流が行われることで、経済的な効果だけでなく、札幌の知名度が高まるなど、より大きな効果を生み出すことができました。

**三國** 私も、商売という枠を超えて、札幌の、北海道の食の文化をアピールしていきたい

いと思っっています。  
**市長** 三國さんは十年近くヨーロッパで修行されているので、現地の人たちとの交流を通じて、いろいろな知識や情報を得たり、あるいは何かを教えてあげたりといった経験が豊富だと思っますが。

**三國** ヨーロッパには、レストランや美術館といった文化の発信地が至るところにありますから。みんな、そうした場を上手に使って、服装や髪型などの流行をつかみ、それに独自のアイデアを付け加えて、自分のレベルアップにつなげているんですよ。

**市長** そうした市民がたくさん増えるように、市では今後、集客交流のための環境づくりを積極的に進めていきますので、三國さんのレストランにもぜひその一翼を担っていただきたいと思います。  
**三國** 札幌店のスタッフは、北海道にゆかりの深い社員を中心に選びました。僕も、市民の皆さんに「自分たちのレストラン」と思ってもらえるよう、自分の人生を賭けて頑張りますので、スタッフ一同よろしくお願ひします。

